地震 第2輯
第37巻 (1984) 679-680頁

日光御番所日記に関する 地震史料補遺

越川 善明

(昭和59年9月3日受理)

A Supplement to the "Zōtei Dainihon Zisin
Siryō" on Referring to the "Diary
of Nikko Tōsyōgū Shrine"

Yoshiaki KOSHIKAWA

(Received September 3, 1984)

「増訂大日本地震史料」(以下「史料」と略記する)に〔御番所日記〕として、日光に残された地震の記録が収載されている。これを昭和6年~14年に日光東照宮から刊行された「日光叢書御番所日記」(第1~9巻)(以下「日光」と略記する)と比較して、前者の誤と考えられるもの、および、後者に記されていて前者に載せられていないものがあるもので、次に記す。

1. 元禄2年閏正月18日(1689.3.9)の地震は、「日光」では(御番所日記)も(御仮殿御番所日記)も共に18日と記している。つまり同一の地震を二つの番所で別々に記しているのである。「史料」が前者を17日、後者を18日とし、別の地震として扱っているのは誤である。

2. グレゴリオ暦の書き違い

元禄9年6月27日(1696.7.25)の25が27と誤っている。

元禄15年8月6日(1702.8.28)の28が22と誤っている。

3. 月の誤

元禄15年8月16日(1702.9.7)の8月を7月と誤っている。

4. 閏月の閏を落したのもの

宝永2年閏4月21日(1705.6.12)の地震が単に4月21日とされている。

享保20年閏3月14日(1735.5.6)の地震は日光のみならず江戸および東北地方でも感じているものであるが、「史料」では単に3月14日とされている。「日光」を調べて見ても3月14日には地震のことは記されていない。この年の閏3月の日付の一部を「日光」から抜き出して見ると

壬3月11日

3月12日

同13日

同14日

壬3月15日

となつている。「史料」は前々日の(3月12日)を受けて(3月14日)としたものと思われる。これは次の元文2年の場合も同様である。なお壬は閏を略したものであることはいうまでもない。

元文2年閏11月13日(1738.1.3)には越後でかなりの地震が起こっているが、「日光」は閏11月の条で単に(11月13日)と記しており、「史料」はそれをそのまま書いているとしか考えられない。

5. 単なる日付の書き誤り

宝暦5年1月5日(1755.2.15)は「史料」本文は

『同1月5日 晴』

一御宮御安全 午剋地震少々』

と正しく記されているが、見出しの日付が1月4日(1755.2.14)となっており、「新収日本地震史料 第3巻」もこの日付になつているので付記しておく。

「史料」に載せられていない地震は別表に示した。記事は簡単に記し、長文のものは一部省略した。

文 献

日光東照宮, 1931-1939. 日光叢書御番所日記, 第1巻第9巻。

武者金吉, 1941-1943. 増訂大日本地震史料, 第1巻, 第2巻。

第1表 「史料」に記載されていない地震

日 本 暦		グレゴリオ暦	御番所日記々事	参 考 事 項
元祿 2年	閏 1月23日	1689. 3.14	未ノ后刻少々地震	
11	4 3	1698. 5.12	申刻少地震	江戸に地震あり(申中刻)
13	10 12	1700.11.22	巳中刻少々地震仕候	
宝永 4	11 2	1707.11.25	辰刻前後両度地震少々御安全也	
5	10 3	1708.11.14	子ノ刻過少々地震 両火之番参上	
5	10 4	1708.11.15	辰下刻少々地震	下野茂木に地震
5	12 14	1709. 1.24	酉下后刻少々地震也	下野茂木に地震
6	3 4	1709. 4.13	酉下刻少々地震也	下野茂木に地震
6	3 5	1709. 4.14	子刻少々地震也	
7	2 22	1710. 3.21	午刻地動些少 御平均也	下野茂木に地震
正徳 2	8 29	1712. 9.29	丑ノ下刻地震少々無御別条	江戸に地震(丑中刻)
3	4 29	1713. 5.23	卯中刻少々地震	
4	7 22	1714. 8.31	未ノ下刻地震少々 御安全	
5	2 3	1715. 3. 8	子ノ刻少々地震	江戸, 子刻過地震
5	4 8	1715. 5.10	午中刻地震少々也	江戸, 午下刻地震
5	7 30	1715. 8.28	丑ノ刻少々地震	江戸, 8月1日丑刻地震
5	8 21	1715. 9.18	午ノ中刻地震少々	
享保 1	11 19	1717. 1. 1	丑下刻少々地震	江戸, 11月18日寅刻過地震
2	4 3	1717. 5.13	未上刻地震 御奉行衆より御使来ル(下略)	仙台, 花巻等大地震
3	2 7	1718. 3. 8	未刻過地震有之(奉行より使者あり, 略す)	
3	8 6	1718. 8.31	卯刻少々地震 辰刻山口図書伺公	
6	5 2	1721. 5.27	酉中刻少々地震有之	江戸, 酉中刻地震
6	11 9	1721.12.27	午后刻地動有之 御安全	盛岡, 午刻地震
7	11 11	1722.12.18	卯后刻地震無御別条候	
10	10 20	1725.11.24	午中刻地震(それより夜中まで5回地震あり)	江戸・盛岡・八戸も午刻頃に地震
10	10 21	1725.11.25	20日:丑刻過余程地震此節御伺無之也 21日:巳刻, 午刻過, 未后刻少々宛地震伺無之	江戸・八王子, 20日夜中地震
12	閏 1 30	1727. 3.22	巳中刻少々地震也	
12	5 29	1727. 7.17	申刻少々地震御安全也	
13	2 29	1728. 4. 8	今朝明七ツ時分地震(下略)	
16	2 3	1731. 3.10	申中刻地震少々(下略)	江戸, 申中刻過地震
19	3 12	1734. 4.15	巳下刻少々地震	
元文 4	11 4	1739.12. 4	子刻少し地震	江戸, 夜子刻地震少
寛保 2	10 28	1742.11.24	酉ノ下刻地震少々 御安全	江戸, 戌ノ刻過地震
3	8 11	1743. 9.28	卯中刻地震御安全也	江戸, 卯刻過地震
延享 2	8 9	1745. 9. 4	午刻地動少々無御別条	江戸, 午ノ刻過地震
2	9 11	1745.10. 6	未下刻地震少々 御安全	
3	1 22	1746. 3.13	未刻地震少々	
4	10 20	1747.11.22	酉刻過地震少々	江戸・八王子, 酉刻過地震
寛延 2	10 2	1749.11.11	午刻前地震少々	江戸, 午刻前地震
2	10 8	1749.11.17	丑刻地震少	
宝暦 4	10 12	1754.11.25	巳刻震動	
10	11 16	1760.12.22	未刻過地震少御安全	江戸, 未刻地震